

総合整備計画書(案)

福井県あわら市波松辺地

(辺地の人口468人 面積2.7km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
波松、城、城新田、番堂野
- (2) 地域の中心の位置
あわら市波松25-43-1
- (3) 辺地度点数
109点

2 公共的施設の整備を必要とする事業

当地域は、あわら市の北部に位置し、市街地から約9km離れている。

この地は、長大な海岸線を有しているため、釣りやサーフィンなどのマリレジャーで賑わっている。また、ナシやクリ、ブドウ等の果樹栽培やコウナゴ漁など市内でも有数の農産物・水産物の生産地となっている。

波松地区の人口は468人、世帯数は190世帯(令和8年3月31日時点)となっており、10年前と比較して人口で173人、世帯数で11世帯減少している。また、高齢化率は40%を超え、市内でも人口減少・少子高齢化が著しく進み、空家数も多い地区となっている。

あわら市は、福井県内でも有数の果樹栽培地として知られ、特にナシ及びカキは県内生産量1位となっているが、農家の高齢化が進み、後継者不足により事業の継続が困難となってきている。また、波松地区全体としても人口減少が進んでおり、その影響により波松小学校は平成28年4月から休校となっている。しかしながら、当該校舎は地元団体がカフェや各種体験教室の会場として利活用しており、地域活性化の一助となっている。

このため、この波松にナシ等の農産物の近代化に資する施設を整備することは、あわら市のみならず福井県の農業の持続可能性を図るためにも重要である。さらに、波松小学校の利活用をはじめ、波松海岸やサイクリングロードなどといった周辺施設の整備を行うことで、集客や観光交流人口のさらなる増加が図られるとともに、にぎわいの創出や地域振興における相乗効果が期待できる。

さらに、道路橋梁については、生活・産業・観光を支える基盤であることから、適切な整備を進め、円滑な交通の確保及び安全性の向上を図る必要がある。

加えて、公共下水道施設については、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、将来にわたり持続可能な生活基盤を確保するため、適切な整備及び維持管理を進めていく必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和8年度～令和13年度

(単位:千円)

| 施設名 | 事業主体 | 事業費 | 財源内訳 | | 一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額 |
|-------------|------|---------|---------|---------|----------------------------|
| | | | 特定財源 | 一般財源 | |
| 道路橋梁整備事業 | あわら市 | 55,000 | 20,000 | 35,000 | 35,000 |
| 農林水産施設整備事業 | あわら市 | 441,000 | 194,000 | 247,000 | 247,000 |
| 公共下水道設備更新事業 | あわら市 | 24,000 | 0 | 24,000 | 24,000 |
| 合計 | | 520,000 | 214,000 | 306,000 | 306,000 |